北夙川通りの家







■外観

左官屋が調合したオリジナルのモルタルを使用した掻き落し仕上げで、メンテナンスフリーの外壁 とした。複数のサンプルの中から木部と相性の良い色合いを選んだ。

木部は表面を荒々しく仕上げた帯鋸仕上げの国産熊野杉材(和歌山県)を使用した。

押縁仕上とすることで縦線が強調され、よりモルタルとの対比を感じることができる。また、傷んだ 部分のみ簡単に取替られる様にした。

極限まで建物高さを低くすることで、道路からのフォルムを小さく見せ、周辺環境に馴染む様にした。

■建物概要

断熱性能 敷地面積 70.30 m² 屋根 フォノバボード 42.05 m² 壁 セルロースファイバー 太陽光発電 床面積 1F 35.98 m²

床面積 2F 37.15 m² 省工ネ性能 BELS評価取得 延べ床 73.13 m²

基礎 カネライトフォーム

構造性能 耐震等級3

耐風等級2

■外部仕上

バルコニー 金属防水

外壁 国産熊野杉(和歌山県)板縦張り 押縁仕上げ、

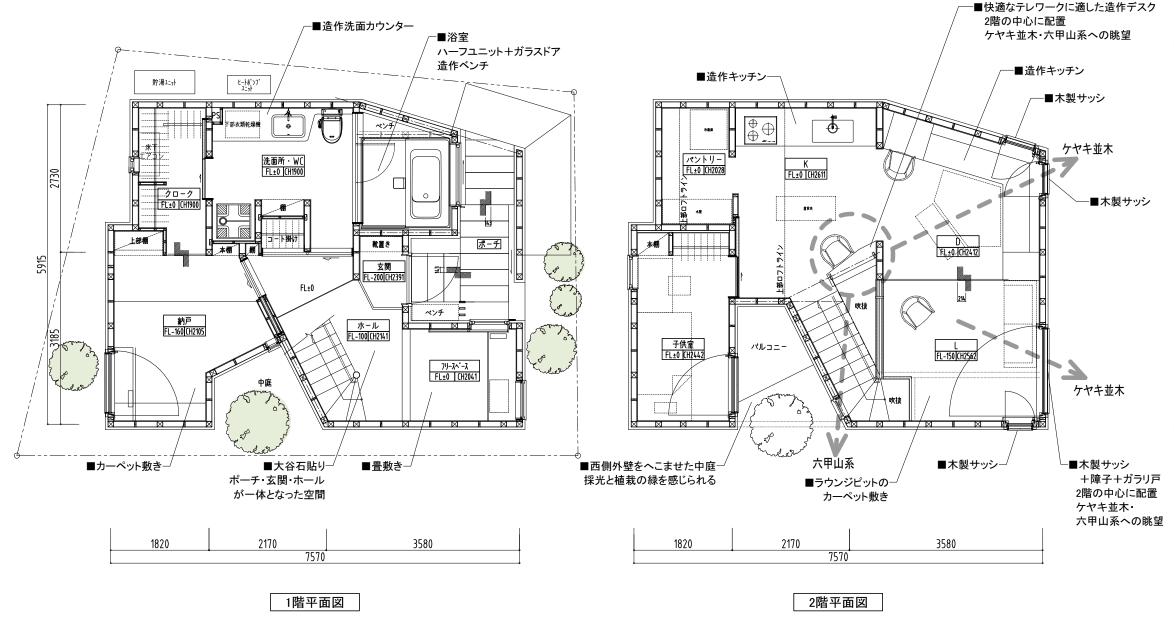
モルタル掻き落とし、ガルバリウム鋼板

屋根 ガルバリウム鋼板タテハゼ葺き t=0.35

軒天 杉 荒材

床: 大谷石300×900 軒天: 木毛セメント板

北夙川通りの家



■内部空間

各室の心地よい高さ、広さを模索することで、使いやすい 大きさと空間を確保した。

■内部仕上

勾配天井:構造の面材と垂木をそのまま表した勾配天井。 成を大きくした垂木が空間に動きを付け、床面 積以上の広さを感じる空間にしている。

壁: LDKと玄関・ホールの漆喰は左官屋が施工、それ以外は施主がDIYで施工した。 アクセントで一部国産熊野杉板張りやタイル張りを採用し、飽きのこない仕上としている。

床: メインは国産熊野杉の無垢フローリングを使用。 厚みを30mmとすることで、足触りが良く温かみ のある仕上りとなった。

ラウンジピット状に床を下げたリビングはカーペットを使用することで、落ち着いた高級感のある空間に仕上がった。







02

■国産材の使用

内装材だけでなく、構造材にも近隣地域国産材を使用し、 国産材ならではの風合いや、美しい木肌を感じられる。 また、育った環境に適応した木材は、耐久性や強度にも 優れ、安全性にも富んでいる。

外壁:国産熊野杉板縦張り 押縁仕上げ (和歌山県)

内壁:国産熊野杉板張り(和歌山県)

床 :国産熊野杉の無垢フローリング (和歌山県)

垂木:国産熊野杉 (和歌山県)

浴室内壁•天井:国産熊野檜 (和歌山県)

勾配天井構造面材:国産杉ラミナパネル (鳥取県)

デスク: 国産杉ラミナパネル (鳥取県)







